

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |        |       |                                      |                          |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-------|--------------------------------------|--------------------------|
| 登録コード                     | MA700200                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 開講年度 | 2026   |       |                                      |                          |
| 授業科目名                     | 研究方法論                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |        |       | 担当教員                                 | 上村 智子 他                  |
| 英文授業名                     | Methods in Health Science Research                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |        |       | 副担当                                  | 松田 和之・中込 さと子・横川 吉晴・小宅 一彰 |
| 単位数                       | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 講義期間 | 前期(後半) | 曜日・時限 | 土曜・2時限 土曜・3時限                        | 対象専攻 / 学年                |
| 講義室                       | 保健学科 2 1 1 講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      | 授業形態   | 講義    | 授業科目区分                               | 選択科目                     |
| 信大コンピテンシー 該当              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |        |       |                                      |                          |
| (1)授業の達成目標                | 【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |        |       |                                      |                          |
|                           | MS 2 6カリ(保健学), MS 2 5カリ(保健学), MS 2 4カリ(保健学), MS 2 3カリ(保健学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |        |       |                                      |                          |
|                           | 【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |        |       | 研究を遂行するための倫理や、研究方法や進め方について説明できるようになる |                          |
| (2)授業の概要                  | 保健医療の分野で研究を遂行するために必要な知識、態度、技術、科学的根拠に基づく分析能力を獲得するために、保健医療研究を遂行する上での、道義的責任と倫理、各分野における科学的研究の種類と特徴、問題解決のための研究方法を教授する。<br><br>本授業は、担当教員の保健・医療分野における臨床や研究の実務経験を活かして講義を行います。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。                                                                                                                                                                                     |      |        |       |                                      |                          |
| (3)達成目標（一般学習目標 G I O）     | 保健医療領域の研究を遂行する上で必要な態度、倫理、複数の研究手法について学び、修士論文を作成する基本的手続きを習得する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |        |       |                                      |                          |
| (4)達成目標（個別行動目標 S B O s）   | ・ 医学・医療系の研究を実施するうえで留意する点について説明できる<br>・ 論文を読むことの重要性について説明できる<br>・ 保健・医療・福祉サービスの改良や開発において主要な役割を果たすプログラム評価の理論と方法、プログラムのニーズ、設計、実施、その効果性や効率性を査定する評価の枠組みについて説明できる<br>・ 修士課程における研究のすすめ方、倫理審査、研究申請書の作成と研究助成について説明できる<br>・ 保健医療研究における質的研究の概要（質的研究の位置づけ、主な方法論、まとめ方）について説明できる                                                                                                                |      |        |       |                                      |                          |
| (5)授業計画                   | 第 1 回 （4月 11日, 5時限 遠隔ライブ） 研究と倫理（中込）<br>第2-3回 （5月16日, 遠隔オンデマンド2コマ） 臨床現場の経験・知見を研究に発展させることの重要性（松田）<br>第4-5回 （5月23日, 遠隔オンデマンド2コマ） 遺伝子解析技術とインターネットツールの活用法（松田）<br>第6-8回 （5月30日, 遠隔オンデマンド3コマ） 研究の進め方：倫理審査、研究計画、研究補助金申請論文の書き方、文献検索（横川）<br>第9-10回（6月13日, 1-2時限 遠隔ライブ） 質的研究入門Ⅰ（中込・小宅）<br>第11-12回（6月20日, 1-2時限 遠隔ライブ） 質的研究入門Ⅱ（中込）<br>第13-15回（7月11日, 1-3時限 遠隔ライブ） 保健・医療・福祉サービスにおけるプログラム評価（上村） |      |        |       |                                      |                          |
| (6)授業の進め方                 | 授業は、配布資料に基づく講義形式（一部に演習を含む）、もしくは、学生のプレゼンテーションとディスカッション形式で進めます。授業は遠隔授業で行います。ライブ配信するズームのURLは事前にeALPSに掲載します。また、ライブ、オンデマンドともに講義資料や学習内容をeALPSに掲載しますので、準備をお願いします。オンデマンド授業では、解説動画に基づいた問題を提示します。解説動画を視聴後、理解の確認（復習）のために問題に対する回答を求めます。質問には都度メールで対応します。質問事項に対する解説動画・資料も後日掲示するようにします。                                                                                                          |      |        |       |                                      |                          |
| (7)履修上の注意・事前事後学習の内容       | 【事後学習】授業では、研究倫理、複数の研究手法、修士論文作成の手続きについて学習していただきます。本授業で学習した内容を反映して、各自の研究手続きを進めてください。また、单元ごとに課題がありますので、指示された期限までに提出してください。<br><br>【履修上の注意】web会議システムによる遠隔授業を行う場合は、事前にアクセスID / パスワードを通知します。                                                                                                                                                                                            |      |        |       |                                      |                          |
| (8)成績評価の方法                | 5/16, 5/30, 6/13, 7/11にレポート課題を指示します。<br>成績はこの課題レポート（90点満点）と授業での積極的な発言（10点満点）に基づいて総合的に成績を評価し、総得点の60パーセント以上を合格とします。                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |        |       |                                      |                          |
| (9)成績評価の基準                | 課題レポートの評価基準は、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している：90点」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある：80点」。4項目までできていれば「やや上にある：70点」。3項目までできていれば「水準にある：60点」とする。<br>授業での積極的発言については、5名の担当教員が、各々、非常に積極的：10点、積極的：8点、積極的でも消極的でもない：6点、やや消極的4点、消極的2点で評価し、平均点を得点とする。                |      |        |       |                                      |                          |
| (10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応 | 質問・相談は、随時、メールにて受け付け、積極的に対応します。<br><br>オフィスアワー<br>上村：木曜日12時～13時 中校舎4階 上村研究室（事前にメールにてご連絡ください）<br>tkamimu@shinshu-u.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                            |      |        |       |                                      |                          |

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (10)学生へのメッセージ並びに質問,相談への対応 | <p>松田：随時 中校舎4階 松田研究室（事前にメールにてご連絡ください）<br/> kmatsuda@shinshu-u.ac.jp</p> <p>横川：火曜日12時～13時 南校舎4階 横川研究室（事前にメールにてご連絡ください）<br/> fhakuba@shinshu-u.ac.jp</p> <p>中込：随時 中校舎3階 中込研究室（事前にメールにてご連絡ください） snakagomi@shinshu-u.ac.jp</p> <p>小宅：随時 南校舎4階 小宅研究室（事前にメールにてご連絡ください）<br/> k_oyake@shinshu-u.ac.jp</p> |
| 【テキスト,教材,参考書】             | <p>【参考書】</p> <p>Rossi PH他著・大島巖他監訳：プログラム評価の理論と方法．日本評論社．2005．（上村担当分）</p> <p>古谷野亘,長田久雄：実証研究の手引き．ワールドプランニング．1992．（横川担当分）</p>                                                                                                                                                                          |